

「地方目線」×「当事者目線」 の少子化対策



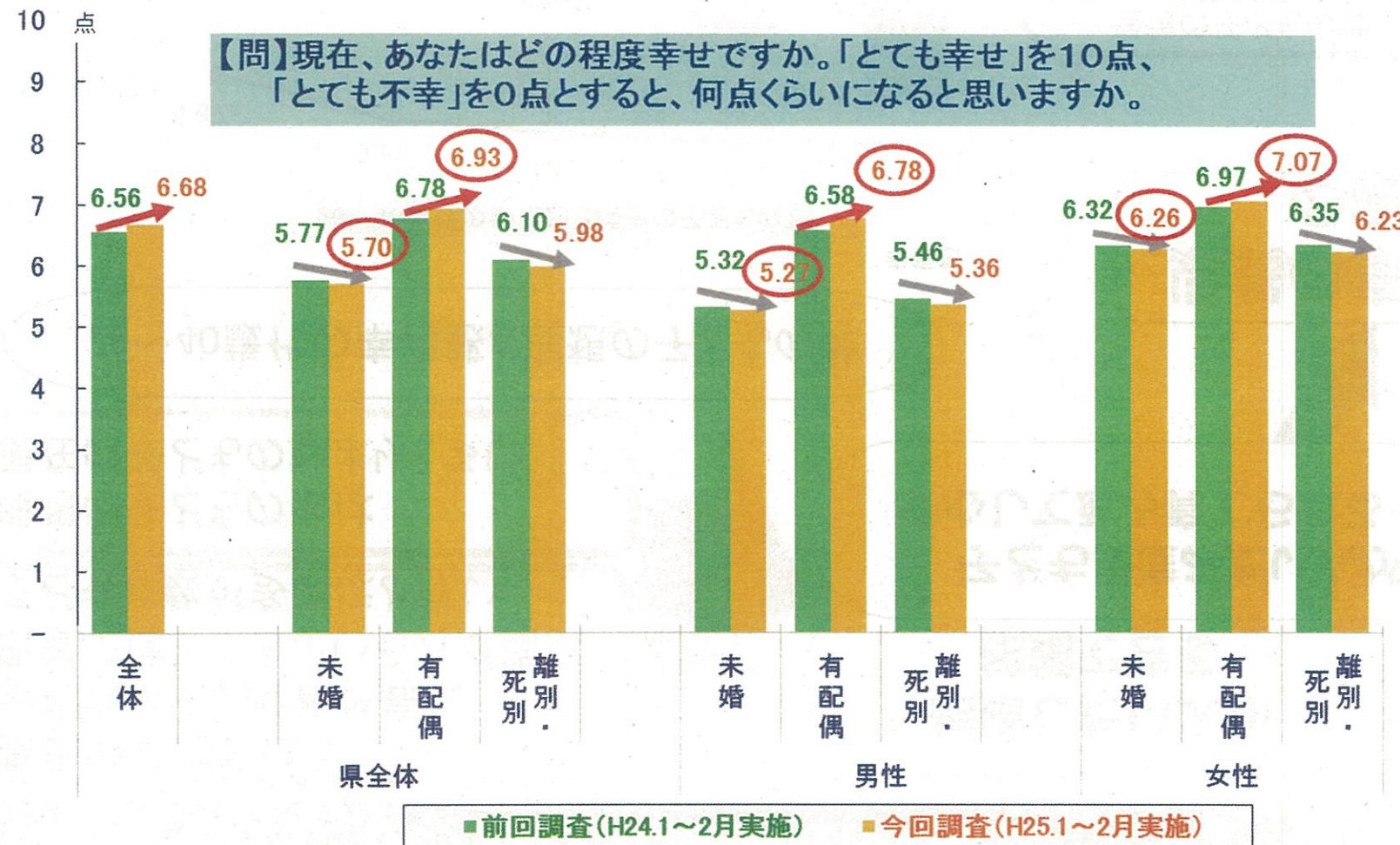
結婚や子どもの数と幸福実感の関係



県民の幸福感は6.68点で、1年前の前回調査(6.56点)より0.12点上昇

既婚は6.93点で未婚(5.70点)より1.23点高く、前回調査よりも差が拡大

(参考)内閣府実施「平成23年度国民生活選好度調査」平均値:6.41点



○出典:第2回みえ県民意識調査(三重県 平成25年1月~2月実施、有効回答数5,432)。

○第2回調査では特に、結婚していない理由や理想の子どもの数など、「家族」や「子ども」に関する項目について調査しています。

結婚や子どもの数と幸福実感の関係



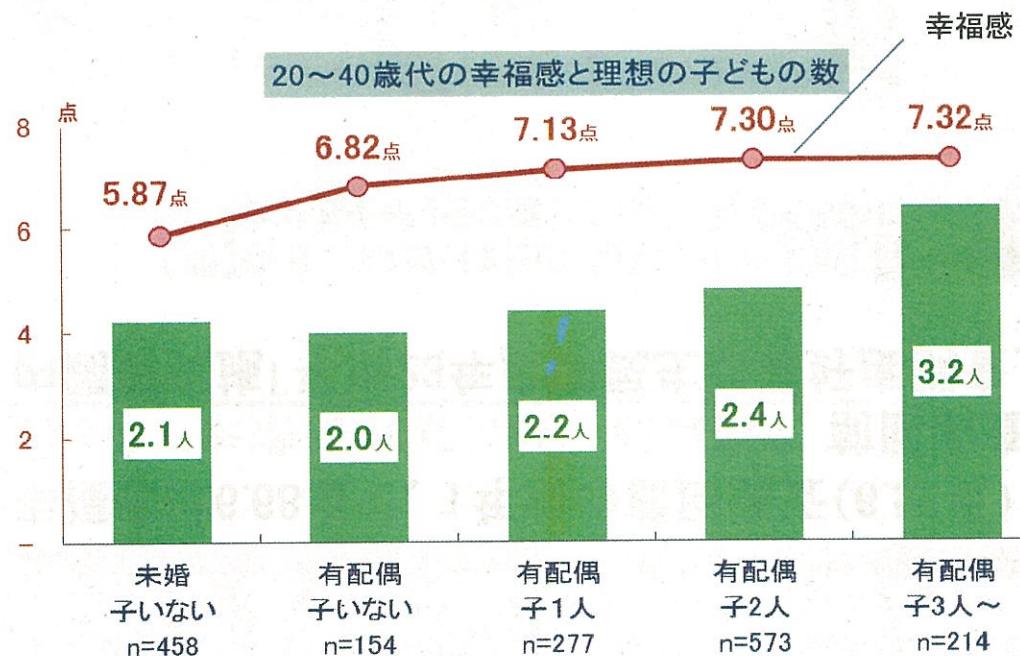
県民の幸福感は
未婚者より既婚者が高く、
既婚では子どもがいる方が高く、
子どもの数が多いほど高い

理想の子どもの数は
現在の子どもの数よりも多い

結婚したい人が
結婚できる

子どもを産みたい人が
安心して産み育てられる

20～40歳代の幸福感と理想の子どもの数



県民の幸福実感
の向上

理想の子どもの数

現在の子どもの数

で

(出典)三重県「第2回みえ県民意識調査結果」

地域少子化対策強化交付金の創設

地域における少子化対策の強化（内閣府政策統括官（共生社会政策担当）少子化対策担当）

25年度補正予算額（案） 30.1億円（新規）

事業概要・目的

【事業の目的】

我が国の危機的な少子化問題に対応するため、結婚、妊娠・出産、子育ての一貫した「切れ目のない支援」を行うことを目的に、地域の実情に応じたニーズに対応する地域独自の先駆的な取組みを行う地方公共団体を支援する。

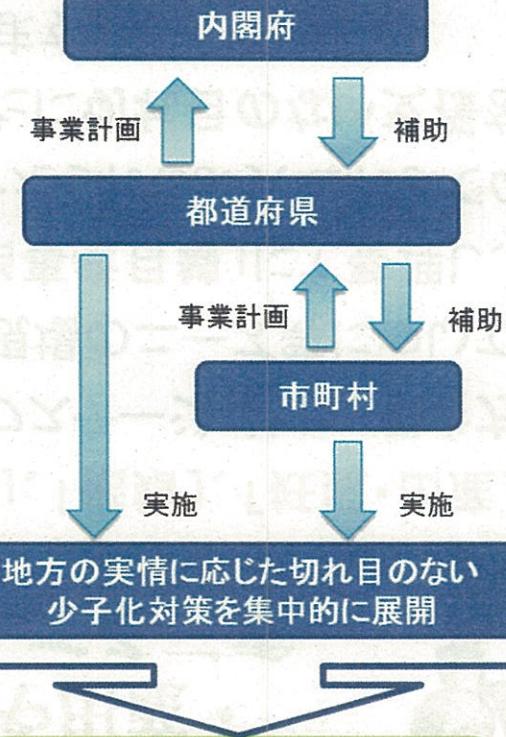
【事業の概要】

- 地域の実情に応じたニーズに対応する結婚、妊娠・出産、子育ての「切れ目のない支援」を実施。
- 国は、計画に盛り込むべき事項を提示。都道府県は、地域の実情に応じた結婚、妊娠・出産、子育ての「切れ目のない支援」を行うための計画を策定し事業実施。市区町村は、都道府県が定める計画に沿って独自の計画を作成し、都道府県は各市区町村の事業を支援。
- 都道府県及び市区町村が定める計画には、以下の事業を盛り込む。
 - ・切れ目のない支援を行うための仕組みの構築
 - ・結婚に向けた情報提供等
 - ・妊娠・出産に関する情報提供
 - ・結婚、妊娠・出産、子育てをしやすい地域づくりに向けた環境整備

地域少子化対策強化交付金（仮称）

- ・補助率：10／10
- ・交付上限：都道府県 4000万円（市区町村分を除く）
市区町村 800万円

事業の流れ



国・地方が連携した
少子化対策の相乗
効果

三重地域少子化対策強化計画



みえ
で
出逢いたい
産みたい
育てたい
スイッチ



県民の方が結婚や出産・
子育てに希望がもてる三重

「子ども・思春期」、「結婚」、「妊娠・出産」、
「子育て」のライフステージごとに、**働き方**
も含めた課題と現場のニーズ等について、
「地方目線」、「当事者目線」にて整理し、
県民の希望が叶えられるよう、これまでの
取組に加え、新たに**切れ目のない支援**
を行うこととしています。

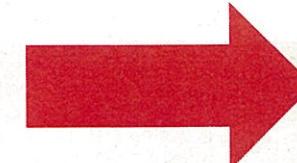
子ども・思春期

結 婚

妊娠・出産

子育て

働 き 方



切れ目のない支援

三重地域少子化対策強化計画



家族の絆づくり

産後ケア体制の整備

不妊に悩む方への支援

男性の育児参画

働き方の改善

県民総ぐるみの運動

県と市町の連携

事業主としての三重県庁の取組

1 産育休者と所属長のコミュニケーション増

2 育bosの推進

管理職の配置にあたって、子育て等を行う職員の仕事と家庭の両立を支援し、応援、サポートしあう職場環境づくりに取り組む姿勢を重視する

3 こども参観(パパ、ママの職場を見学)

4 産育休取得者向けに情報発信



ファザーリング全国フォーラムinみえ

育児参画で男を磨こう！

父親の笑顔、母親の笑顔、子どもの笑顔が
社会を変える！

男性の育児参画により、

- 育児参画した男性は仕事もデキるようになる
- 子どもたちが多様な父性に接し社会性や職業観が育つばかりでなく、
- 母親1人で育児をすることによる産後うつや、育児ストレスが解消され、夫婦関係が強まり老後も楽しくなる
- 母親が出産後も働き続けたいという希望がない、輝けることで感謝されるなど、母親や子どもたちから見てかけがえのない存在となることができ、ひいては、地域社会をも変えることにつながります。

ファザーリング全国フォーラムinみえ 開催決定！

平成26年6月27日（金）28日（土）

☆会場：四日市市文化会館（三重県四日市市安島二丁目5-3）



男性の育児参画の推進



①イクメンアドバイザーの募集

地域での男性の育児参画の普及を図るため、男性の育児参画を牽引できる人材を育成し、市町や企業等でイクメンアドバイザーとしてご活躍いただきます。

②普及啓発広報の実施

父親向けの冊子の作成や新聞媒体などにより男性の育児参画に関する啓発を行います。

③企業への働きかけ

企業子宝率調査により、子育てと仕事の両立を進めている企業の取組を水平展開し、県内の企業全体の少子化対策の推進を図ります。